

第1回市民ワークショップで頂いた意見

◎外観

- ・全体的に角ばっている。曲線があってもよい
- ・全ての外面がガラス(見通しが良い、外から見える)である必要はない
- ・外壁のガラスは、断熱等省エネに貢献するものにしてほしい。
- ・外壁は近隣のプライバシーを考慮したものにしてほしい
- ・B1Fの南側前面をドライエリアにして採光をしてほしい

◎駐車場・連絡通路について

- ・連絡通路を必ず市営駐車場とつなげてほしい
- ・雨に濡れない駐車場を確保してもらい、連絡通路は不可欠
- ・駐車場を地下に希望しない
- ・駐車場のブリッジが3Fか2Fなのか？

◎位置の変更について

- ・吹き抜けで1Fが図書館、2Fが子育てでよいのか、逆の方が良いのでは
- ・子育て支援センター(幼児あずかり)などを1階に設けてほしい
- ・なぜ一階が図書館でなければならないのか
- ・支援センターの役割を全て1階に移してほしい。
協働をしていく上で横のつながり重視するべきだと思います。
- ・図書館を2階に移したほうが本に対して、人に対してセキュリティが確保できる部分もあるのでは
- ・図書館の学習室を地下ではなく地上にしてほしい ※高校生などの見守りが必要
- ・学習室が地下だと学生のたまり場になるのでは

◎動線

- ・道でアイランドをつなぐことに不安がある
- ・気軽に歩き回れること、ブリッジでかえって動きにくい(スムーズな交流を望む)
- ・館内の移動はベビーカーとかカートによるものになることを前提に導線も考えてほしい。スロープの設置を
- ・2階の高低差をなくしてほしい
- ・フロアの高低差をなくしてほしい(移動しやすく) ※1階の床の高低差を指している？
- ・図書館が休館日でもB1Fや2Fが利用できるようにEVや階段を設置してほしい

◎機能の融合

- ・各機能間で交流が上手く出来るように
- ・子育てと青少年の行き来できる工夫を
- ・青少年のためのスペースは市民コミュニティーの近くにしてほしい
(支援と見守りと共に自主性も育つ工夫を) 茅野市を参考に
- ・シニアが子どもを見るためには、託児スペースの確保が必要
- ・ビジネスのスペースと図書館がどうやって連携を取っていくのか疑問

◎多目的広場について

- ・賑わい広場に代わるイベントスペースかどうか再検討していただきたい(多目的広場)
- ・イベントの時に多目的広場と中央通りとの交流が必要

◎エントランスについて

- ・メインの入口から広さを感じるスペースがほしい
- ・正面エントランスから階段で直接下りられるように
- ・エントランスロビーが狭い。平面的にも高さにおいても大きくしてほしい
- ・PRスペースは1Fエントランスに大きく取って、施設内のことを地域ビジネスや地域活動などふらっと立ち寄った人が膨らませられるようにしてほしい

◎吹き抜け・アイランドについて

- ・ガラス手すりの高さを高くし、絶対にしたに落ちないようにする対策が必要
- ・子供が吹き抜けから落下しないようにする
- ・吹き抜け(水のコート)を埋めてスペースを広くしてほしい
- ・自由空間スペースが少ない、吹き抜けが多すぎるのでは
- ・空間をつぶして広さを確保してほしい
- ・2階の床面積を増やして会議室や交流スペースを作してほしい
- ・2階の吹き抜けスペースが広すぎる、床面積を広くするために設計変更してほしい
- ・アイランド型は使いにくい。ワンフロア内に間仕切りという形が望ましい

- ・開かれたアイランド(場所)であったほしい
ある一つの分野や機能に特化、貸切にならないか不安である

◎図書館

◆全体

- ・図書館が壁で分断されるのは考えものである
- ・書架の分類など飛び飛びになっているので、できるだけわかりやすいようにまとめてほしい。
細かく分けずに大まかに見てもいいのでは
- ・パソコンを持ち込み、あるいは貸し出しできる環境
- ・パソコンを利用できるスペース
- ・図書館の中に講座を開けるスペースを作してほしい
- ・ボランティアや勉強(活動)する人の集まる部屋を作してほしい
- ・図書館ボランティア専用の部屋も必要である(図書館活動を活発化させるため)
- ・読書会や講座のための会議室を作してほしい
- ・30人以上のお話会で使えるような部屋が必要
- ・食べる(飲食用の)スペースがほしい
- ・自動書庫を設置してほしい

◆出入口について

- ・サブエントランスは何の為に必要なのでしょうか
図書の盗難などを防ぐためにも図書館の入口の場所は一つが良い
- ・図書館の出入口が複数あるのはどうか。
セキュリティ上1箇所の方が都合がよいのではないかと考える
- ・図書館の入口が多くて管理ができるのか

◆児童室について

- ・児童コーナーと一般コーナーは近くにあってほしい
- ・児童室にもカウンターを設置してほしい
- ・図書館は児童室が狭い、本を平置きできる書架が設置できるスペースを作してほしい
- ・託児の部屋があれば子供を預けて講座を受けることができる
- ・授乳室やトイレの設置、オムツ替えの場所などがほしい
- ・ベビーベッドやベビーサークルの置けるところが図書館の中に必要

◆事務室・作業室

- ・利用者の流れを窓口で把握できたほうが良いのでは
- ・図書館オフィスは入口のそばであることも重要だが、広さも必要(作業部屋)
- ・作業する部屋がほしい
配本室、ボランティア控え室、PTA親子文庫
- ・移動図書館用のスペースがない ※搬入用スペース
- ・図書館員等に専用の移動手段(エレベーター)が必要
- ・職員が共通して使う機器が集まる場所(印刷機、裁断機、コピー機など)を置く場所がほしい

◆音

- ・読書スペース(くつろぎスペース)の上が2Fの通路になって大丈夫か(音や人の気配?)
- ・図書館に2階の音が入りすぎると思われる(空間が多い)
- ・図書館で見渡しの良いオープンスペースで、しかも吹き抜けのある所で、
お話会等のイベントをおこなった時、どのぐらい音が響くのか。
イベントには関わらない人達の読書の邪魔にはならないのか

◆その他

- ・核になる資料は日本一であり、ここでなければ駄目というような他から頼られる施設に
- ・核になる図書の充実
- ・価格が高い、貴重、専門的な資料の充実
- ・医療に関する情報提供、レファレンス機能の充実
- ・医療・介護関連のセカンドオピニオンサービスを充実してほしい
- ・法テラス、国会図書館とのつなぎ役を担ってほしい(端末が必要)
- ・レファレンスサービスが図書館で担えるか不安(人財的に)
- ・レファレンスに対応できる専門職員の設置
- ・地域課題の解決を目指せる職員体制を
- ・パソコンは必須(シニアに限定しない)
- ・図書館でパソコンを使いたい人が増えている。無線LANやノートパソコンの提供を
- ・AVコーナーがどこにあるのか不明
- ・相乗効果の得られるような書架の設置をしてほしい
- ・地下の書庫の活用方法は? 閉架書庫のみなのか? 開架書庫はないのか
- ・図書館機能が拡大している

◎子育て支援

◆スペースが狭い

- ・この施設では子育て講座は何も開催できない。遊戯室、託児室、会議室の確保が必要。現在の支援センター(児童館との複合施設)より事業が削減されてしまう
- ・子育て支援センター、子育て支援のスペースを広くしてほしい
- ・2Fでよいと思う 吹き抜けの工夫を
- ・子育て支援センターでしている事業内容をしっかり把握して、本当に必要な施設、設備等を検討してほしい。遊び場のスペースがあればいいというわけではない
- ・子育て支援センターをもっと広くしてほしい(プレイコーナーも狭いのでは)
- ・子育てのスペースが思っていたよりも狭い

◆こんなスペースが必要

- ・子育て支援センターの充実として託児室、遊び場、調乳室、トイレ(母子共に)、ランチルームなど
- ・子育てフロアでは、子供用トイレ、大人用トイレ、水周りを近くに用意してほしい
- ・授乳室、オムツ替えコーナーを設置してほしい
- ・託児相談の部屋がほしい(少人数から多人数に対応できる工夫を)
※クローズドされた部屋への希望
- ・子育て支援センターの機能として相談業務がしっかりできる「スペース」と「プライバシー保護」の場所をきちんと確保してほしい

◎青少年

- ・青少年のためのスペースについては、当事者からも声(ニーズ)を吸い上げてほしい
- ・独自のスペースをきちんととってほしい
- ・子育て青少年において、子供たちが自分たちの施設と認識できるかどうか不安
- ・子供が喜んで来られるようにしてほしい
- ・中高生が交流できる場所の確保(わざわざ松本まで行くことがないように)

◎シニア

- ・安らぎ憩える場所として、畳のスペースはほしい。そこで、お茶をいっぱいあがりたい
- ・交流センターでのシニア施設の役割は、①高齢者が安らぎ憩える場所を提供することと②シニアの次世代育成や知恵の伝達に貢献すること。さらに③さまざまな情報をキャッチしたり、発信できること
- ・市民交流センターの役割として、特定の目的を持たずに立ち寄った人を、地域やビジネス活動に誘導していくガイド機能を果たすことが求められる
- ・元気なシニアには、ビジネス・子育て青少年の支援・地域活動等で活躍してもらいたい。交流センターはそれを支援する
- ・シニアの定義が不明なため、シニアの施設のイメージがぼらつく。団塊の世代に代表される活動的なシニアが対象なのか、皆で支えるべきシルバーが対象なのか。
- ・シニア施設の果たすべき役割がぼやけている
- ・シルバー人材センターの研修講師OBをシニアスペースで活用できないか

◎ビジネス

- ・ビジネス支援図書館の機能を持たせたい
 - ①レファレンスを充実
 - ②個別相談会開催
 - ③起業セミナーの開催など
 - ④法律相談など
- ・地域でビジネス(コミュニティビジネス)をやりたい人の相談窓口を
- ・ビジネス情報の提供＝就労支援、子育て後の就職支援
- ・フリーターとかニートの人が仕事について調べたりアドバイスを受けたいときに、対応できる場所の確保(1Fまたは2Fの入口付近)
- ・地域産業のPR、地域情報の提供をしてほしい
- ・商工会議所や信大、松本歯科大の専門家の常駐場所がほしい

◎市民活動

- ・市民活動グループの活動スペースはどこにあるのか
- ・自由空間スペースを確保して、サークル活動等に活用すれば人が集まるのでは

◎その他施設について

- ・3Fの集合住宅コーポラティブハウスにしてみたら
- ・美術館の機能を持っているスペースを確保してほしい
- ・映画館を入れてほしい
- ・PRのためのFMスタジオを置いてほしい
- ・塩尻の特産物、お土産等を買える場所がほしい
- ・テナントを儲け入居者が入れるようにしてはどうか

◎既存施設とのすみわけ

- ・既存施設や既存サービスとのすみわけ、調整が必要と思われるが大丈夫だろうか
- ・シニアのPC教室があるが、情報プラザや総合文化センターでの設備とどう使い分けるか考える必要がある

◎設計の進め方について

- ・設計全体に関して、誰がどこでどのように決めるのか、そのプロセスの透明性が必要
- ・塩尻市図書館基本計画を土台にして図書館を設計してほしい
- ・図書館基本計画がしっかり守られるようにお願いしたい
- ・設計の段階に図書館サービスの専門家の図書館長が関わってほしい
- ・新図書館長を中心に話し合いを進めることも必要
- ・4回のWSの他に設計士と図書館についての話し合いの場を計画してほしい
- ・高齢者・小学生・中高生と子育て中の父母、障害者、一般社会人、図書館ボランティア、図書館職員等々とその立場でないと分からないことがある。
WSの他に図書館について設計士と話し合いの場を作ってほしい

◎インキュベーションリーダー

- ・ニーズを集約して活動につなげていく役割を果たす
- ・インキュベーションリーダーは手取り足取り教えるものではない。うまく誘導できる人。
- ・インキュベーションリーダー＝責任を持つ人が必須である
- ・早い段階から運営に関わる人を参画させてほしい
- ・専門家なのか、市民のボランティアなのか、いずれにしても早い段階で明確にして育成したり、募集をかける必要がある

◎その他

- ・誰でも来れる施設に
- ・市民交流センターという名前は閉鎖的である。市外、県外の人に対するサービスも視野に入れるべき
- ・外国人への対応はどのようになっているのか、表記など
- ・1階の賑わいを引き込めるのかどうか不安
- ・運営に市民が関われるのかどうか不安
- ・行政の縦割り運営が不安